

5 関連文化財群の概要

①人の定着からイズノクニ形成への足跡

◆時代：旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代・奈良時代・平安時代（原始・古代）

◆ストーリー：旧石器・縄文時代から農耕社会への移行を経て、大和王権の地方社会としての先進性をもった「伊豆」が成立する。

- この関連文化財群は、旧石器・縄文時代の遺跡から、山木遺跡に代表される弥生時代の生活や生産の遺構、さらには5～8世紀前半ごろに築かれた古墳群や、奈良・平安時代の仏教文化の普及などを伝える事物等の文化財で構成される。
- 市内東部には旧石器・縄文遺跡が多く分布しており、仲道A遺跡で集落が発見され、ここで出土した草創期の縄文土器は全国的にも有名である。
- 伊豆の国市の弥生時代遺跡は、水田遺構が多いことで知られ、山木遺跡は学史上著名な遺跡で、ここで出土した木製品・土器などの遺物は、当時の農耕技術や建築物を示す貴重なものである。
- 古墳時代には、市内にも多くの古墳がつくられ、とくに、多田大塚古墳群は、5～6世紀の古墳群で、太刀・鉄鍬・鏡・短甲・馬具や人物・円筒埴輪など、当時の権力を示す副葬品が多数出土している。市内唯一の前方後円墳である駒形古墳では、人物埴輪が出土している。
- 7世紀後半から8世紀前半にかけて、江間区域や大仁区域で横穴墓がつくられ、北江間横穴群からは「若舎人」の文字が刻まれた石櫃が出土している。東日本では非常に珍しい横口式石槨という埋葬設備をもつ洞古墳には、「白石の石棺」と呼ばれる石槨が残されている。
- 天武9年（680年）、駿河国から伊豆国が分置され、8世紀初頭に田方・那賀・賀茂の3郡が設置されている。伊豆の国市は田方郡に含まれる。
- 花坂島橋古窯址は三島にある伊豆国分寺の瓦を生産した遺跡であり、ここで焼かれた須恵器の壺は長岡京や平安京にも運ばれた。また、広瀬神社は、平安時代の「延喜式神名帳」に見られる古社である。

表9 「人の定着からイズノクニ形成への足跡」を構成する主な歴史文化資源

番号	種類	名称	公開の可否	所有者（管理者）	所在地
1	国指定 史跡	北江間横穴群	公開	伊豆の国市 他	北江間
2	国指定 重要文化財	石櫃 若舎人の刻銘がある 附須恵器 一括	公開	伊豆の国市	長岡
3	国指定 重要有形民俗 文化財	山木遺跡出土の生産・生活用具	公開	伊豆の国市	萑山萑山
4	県指定 有形文化財	仲道A遺跡出土縄文草創期遺物一括	一部公開	伊豆の国市	田京
5	市指定 史跡	平石古墳	公開	随応寺	守木
6	市指定 有形文化財	大平A遺跡の山形押型文縄文土器	公開	伊豆の国市	田京
7	市指定 史跡	白石の石棺	公開	個人	長岡
8	市指定 史跡	駒形古墳群	公開	個人	小坂
9	市指定 天然記念物	広瀬神社の杜	公開	広瀬神社	田京
10	未指定（古墳群）	多田大塚古墳群	一部公開	伊豆の国市 他	萑山多田
11	未指定（古窯跡）	花坂島橋古窯址	非公開	—	花坂
12	未指定（古窯跡）	屋敷台古窯跡群	非公開	—	花坂



写真4 山木遺跡出土遺物



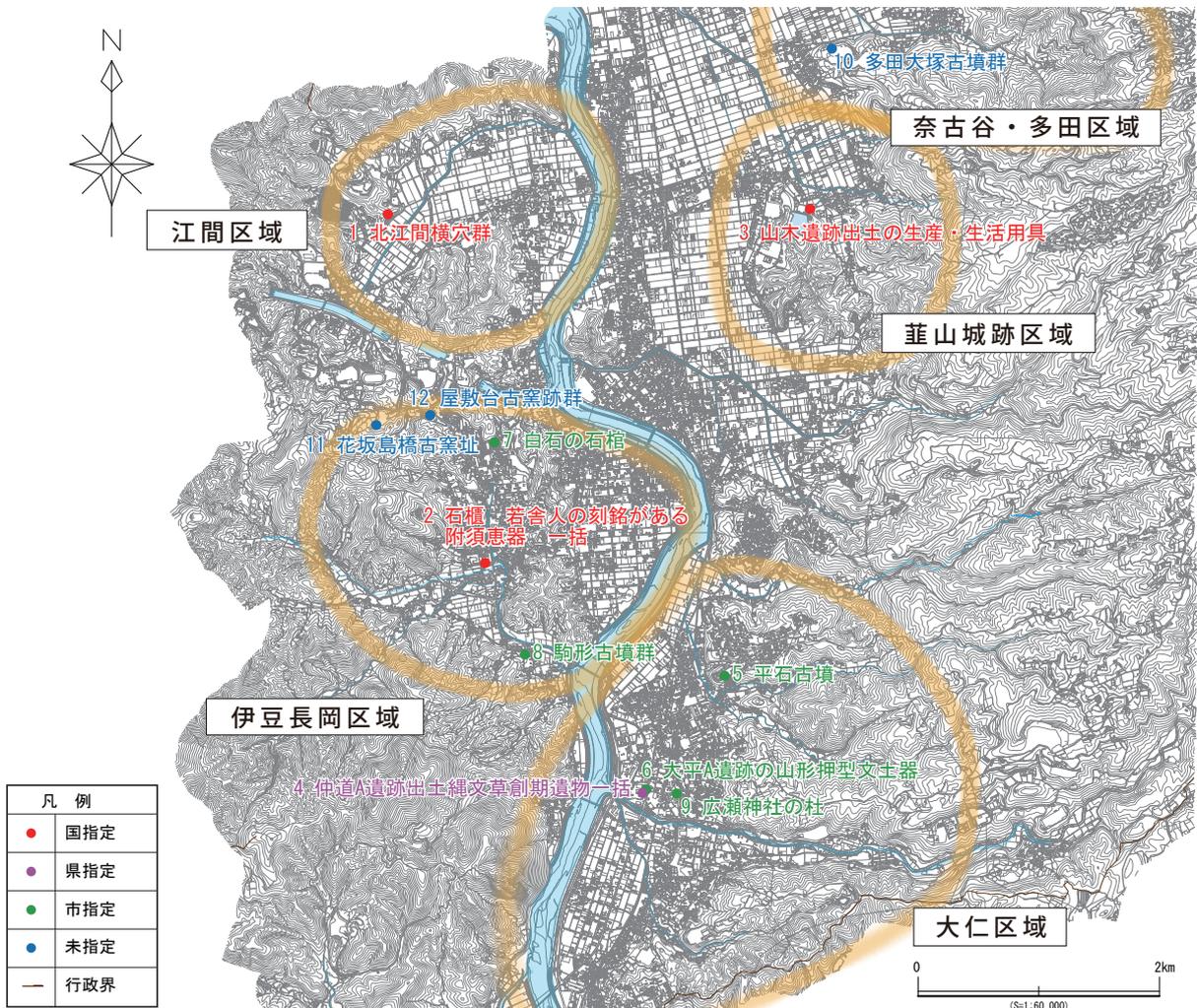
写真5 仲道A遺跡案内板（熊野神社内）



写真6 北江間横穴群



写真7 北江間横穴群出土「若舎人」銘石櫃



第12図 「人の定着からイズノクニ形成への足跡」の関連文化財群の分布